

2023年5月の講演紹介

月日(曜)	時間	講演名	講演内容	講師	定員(名)	参加費(円)	問い合わせ先
5月5日 (金・祝)	11:00~12:30	くめせんにと 久米仙人と 桜児伝説	「久米仙人」空を飛んでいた久米仙人は、川で洗濯をしていた若い女性の白いふくら脛を見て心を乱し墜落。仙人が落ちたところがいまもあらい地蔵尊(奈良県橿原市石川町)になった今昔物語からユーモラスな「久米仙人」を紹介します。 「桜児伝説」二人の男に同時に想いを寄せられ、それを苦にして自害した乙女。万葉集由縁ある雑歌の中から「桜児伝説」を紹介します。	奈良まほろば ソムリエの会 顧問 木村 三彦 氏	50	500	奈良 まほろば館
	14:00~15:30	つぎさかむら 桃花鳥坂邑の 伝承から	「桃花鳥坂」とは「築坂」とも書き難読地名のひとつです。現在の奈良県橿原市鳥屋町一帯のごとで、古代豪族大伴氏の本拠地「築坂邑」でした。「殉死の禁止と埴輪の起源」の伝説をはじめ、周辺には約600基からなる「新沢千塚古墳群」が分布します。飛鳥にも劣らない古代史の舞台、桃花鳥坂邑を紹介します。		50	500	
5月12日 (金)	19:00~21:00	お写経教室	奈良の法相宗大本山薬師寺から僧侶をお招きしお写経を行います。この教室ではお写経を行うだけでなく、僧侶による法話もございます。 完成したお写経は、薬師寺の納経蔵に納められ永代供養されます。 ※お写経は般若心経又は父母恩重経、写仏をお選びいただけます。 ※道具はお貸しいたします。	薬師寺 録事 村上 定運 師	18	3,000	
5月13日 (土)	14:00~15:30	杉岡華邨と 中路融人 —響き合う書と絵画—	奈良県立万葉文化館で開催する特別展「万葉歌から生まれた美の世界—杉岡華邨の書を中心に—」について、担当学芸員が展覧会の見どころを解説します。令和5年は、「かな書」の第一人者・杉岡華邨の生誕110年にあたります。展覧会では、華邨の書作品のなかから「万葉集」を題材にしたものを選び、「万葉日本画」(万葉文化館所蔵)をあわせて展示しています。なかでも見どころである華邨と日本画家・中路融人との合作群について講演します。	奈良県立万葉文化 館 主任学芸員 染田 英美子 氏	会場: 50 オン ライ ン: 100	無料	
5月14日 (日)	13:30~15:00	松永久秀と 戦国大和	戦国武将・松永久秀は、良く言えば下剋上の代表、悪く言えば梟雄として、有名な人物です。しかし、主君や将軍を殺したという逸話は、江戸時代に創作された真つ赤なウソ。むしろ、久秀は大和・奈良で現代にまでつながる様々なモノを生み出したり、影響を与えたりしました。1つ目は、奈良市に築いた多聞山城に採用したという、お城のある部分。2つ目は、久秀に仕えた柳生宗藏(石舟斎)が開いた。あの剣術。3つ目は、天理図書館が所蔵する「源氏物語」の注釈書「林逸抄」を執筆した林宗二が、久秀より専売を許されたという、今も食べることができる、あの「おまんじゅう」。戦国の大和の魅力に迫ります。	天理大学 文学部 歴史文化学科 天野 忠幸 教授	36	無料	
5月19日 (金)	13:30~15:00	源氏物語の 旅ごころ —古都冒険紀行—	源氏物語とそこに描かれる旅の情景について考えます。まず、天理図書館所蔵の源氏物語の古写本(池田本、国冬本)を紹介し、その特徴と美しさについて解説します。そこから、源氏物語の作者や時代背景、全体像を見てゆきます。源氏物語の玉鬘巻では、奈良県の古刹である長谷寺が舞台の一つになっています。そこで、九州に流離した姫君・玉鬘の一行が旧知の人々と再会を果たします。このことをきっかけに玉鬘は京都にいる光源氏の養女となるのですが、その顛末はいかに。また、室町時代の上流貴族で学者の一条兼良は、応仁の乱を逃れ、奈良の地で源氏物語の研究を究めます。その成果である「花鳥余情」を紹介します。	天理大学 文学部 国文学国語学科 原 豊二 教授	36	無料	天理大学 広報・ 社会連携課 0743-63-9006 /2023semi@ sta.tenri-u. ac.jp
5月28日 (日)	13:30~15:00	奈良の妖怪譚 「ジャンジャン火」 —その地域性と歴史性—	ジャンジャン火は、奈良盆地に特徴的な怪火の伝承です。この世に恨みを残して死んだ死者の魂が火の玉になって飛ぶといひ、ジャンジャンと音を立てるからです。この話は昭和8年の「大和の伝説」によって広く知られるようになります。なかでも有名なのは、天理市と桜井市の境の龍王山に城を築いた十市遠忠にまつわる伝承でしょう。遠忠は、信貴山城の松永弾正と戦って敗れ、その魂がジャンジャン火になったというのです。しかし、これ以外にも、心中や敵討ちなど様々な恨みを物語る話が奈良盆地の各地に伝わっていました。それらを紹介しながら、伝承の背景となる地域性と土地ごとの歴史意識を、民俗学の立場から考えます。	天理大学 文学部 歴史文化学科 齋藤 純 教授	36	無料	

奈良「まほろば学」

奈良「まほろば学」について		申し込み方法			
<p>心のふるさと、日本のルーツである「奈良」の歴史や文化を知っていただき、実際に奈良の地を訪れて、歴史文化を肌で感じていただくことを目的として開講しています。</p> <p>日本文化発祥の地である「奈良」の魅力に迫る一般教養講座のほか、奈良ゆかりの地を巡る江戸探訪や万葉集を学ぶ歴史文学の選択科目講座を行います。</p>	5月15日 (月)	11:00~12:30	歴史文学 万葉講座 日本女子大学名誉教授/「万葉の海を考える会」理事 平舘 英子 氏	36	<p>奈良シニア大学 in東京 TEL:0120-830-155</p> <p>5月実施分の詳細は、 下記2次元コードより ご覧ください!</p> 
		13:30~15:00	一般教養 能楽から見る正義と悪!	36	
	5月29日 (月)	15:15~16:45	江戸探訪 一般社団法人港区観光協会事業委員/港区観光大使 澤内 隆 氏	36	
		11:00~12:30	歴史文学 万葉講座 日本女子大学名誉教授/「万葉の海を考える会」理事 平舘 英子 氏	36	
		13:30~15:00	一般教養 修験の風 ~祈りと再生の道を歩む~ 櫻木坊 住職 巽 良仁 師	36	
		15:15~16:45	江戸探訪 一般社団法人港区観光協会事業委員/港区観光大使 澤内 隆 氏	36	

- ホームページ 奈良まほろば館のホームページ (URL: <https://nara-mahoroba.pref.nara.jp>) にアクセスいただき、「Event」の各講座のページからお申込ください。
(問い合わせ先が奈良まほろば館である講座について)
※受講券等の発行はいたしません。 ※キャンセルされる場合は申し込み時に届いたメールに記載の URL より手続きをお願いいたします。

奈良まほろば館

〒105-0004 東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル1階・2階

1F Shop/Cafe&Bar まほろば TEL:03-6263-9656 [OPEN]11:00~20:00

2F TOKI(Restaurant&Bar) TEL:03-6228-5665

[OPEN] ●Restaurant/火曜~土曜12:00~15:30(L.O.13:00)、18:00~22:00(L.O.19:30)、日曜12:00~15:30(L.O.13:30)

●Bar/火曜~土曜12:00~15:00(L.O.13:30)、17:30~22:30(L.O.21:00)、日曜12:00~18:00(L.O.17:00)

[CLOSED]月曜日/第2・第4日曜日

観光案内 TEL:03-5568-7081

[OPEN]平日(月曜~金曜)12:00~17:30 土日祝:12:00~18:00



奈良まほろば館

- アクセス方法
- JR新橋駅銀座口より徒歩約3分
- 東京メトロ銀座線新橋駅1番出口より徒歩約3分



奈良まほろば館
ホームページ用
2次元コード

